

アメリカ合衆国大統領
バラク・H・オバマ 殿

国際社会の声をないがしろにする未臨界核実験に強く抗議する

12月6日、ネバダ州の地下核実験場で通算27回目になる未臨界核実験を実施したことが明らかになった。

この実験は、9月の国連総会第一委員会の「核軍縮の人的側面に関する共同声明」の精神や、オバマ大統領自身が国家目標として掲げた「核兵器のない世界」の追求という言明に反するだけでなく、国際社会が一致して求めている北朝鮮の長距離ミサイル発射の中止を求める声にも大きく水を差す結果につながりかねない。

また今回の未臨界核実験は、包括的核実験禁止条約（CTBT）を骨抜きにし、核兵器の拡散に拍車をかけ、世界の核兵器廃絶の願いに逆行している。

今回の核実験に厳しく抗議するとともに、直ちに中止を求め、米国が世界に約束した「核兵器のない世界」にむけた実効ある行動をとるよう強く求める。

2012年12月8日

非核の政府を求める大阪の会